

【専門科目領域/専門科目群/看護の統合と発展】

科目名		ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等
医療安全論		NSP33_010	選択	1	3	前期
担当教員		研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
小石川 好美		403	yoshimi.koishikawa		授業終了後、 火曜日 13：00～14：00	
授業の目的・概要	安全な医療を提供するための組織としての取り組みや看護における安全対策についての知識と技術を習得する。医療機関における安全対策、院内感染防止対策、安全文化についての基礎的知識、医療安全に関する用語、ヒューマンエラーの種類と不安全行動の防止対策、さらには具体的なエラーの防止対策を理解する。また医療事故に伴う看護職の法的責任について理解する。					
授業形式・方法	☒ 対面授業 ☒ 講義 ☒ 演習 ☐ PBL ☐ 反転授業 ☐ ディスカッション・ディベート ☐ 遠隔授業(双方向型) ☐ 実習 ☐ 実技 ☒ グループワーク ☒ プレゼンテーション ☐ 実習・フィールドワーク ☐ 遠隔授業(自主学習) ☐ その他（					

【専門科目領域/専門科目群/看護の統合と発展】

総合評価割合（％）		達成度評価					
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
総合力指標	知識・技術力	50	40	0	0	10	100
	思考・推論・創造する力	20	10	0	0	0	30
	思考・推論・創造する力	20	20	0	0	0	40
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	0	0	0	10	10
問題を発見・解決する力		10	10	0	0	0	20
評価のポイント						フィードバックの方法	
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点					
試験	①	✓	医療安全の基本的な知識について 60％評価する。				試験終了後に振り返りを行う。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
レポート	①	✓	レポートにより、授業内容の理解および学生自身の考え方が明確に表現されているかを 40％評価する。 （事前/事後課題①②各 10％、事後課題③20％）				授業内で共有する。
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
その他	①	✓	授業に臨む姿勢を 10％評価する。				
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
備 考							
他 担 当 教 員		なし					
教 員 の 実 務 経 験		看護師として 40 年の臨床経験を有する。					
実践的授業の内容		実務経験のある教員の指導のもと、医療安全の基本的な知識について理解を深める。実践事例を取り上げ、教科書を補強しながら学習する。					
そ の 他		・試験への教科書の持ち込みは不可とする。 ・シラバスの変更がある場合は随時連絡する。					